



自治連だより

第27号



再任のご挨拶

鳥取市自治連合会
会長 南部 敏

令和元年五月十日開催の総会で会長に再任されました。誠心誠意尽くす所存でございますので、皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願ひ申し上げます。

さて、東京一極集中は依然として変わることなく、人口減少、少子高齢化の進展、地方経済の脆弱さ、異常気象、想像もしない災害、交通事故、殺人事件など目の当たりになっている現状があります。

新しい御代の代となり元号も変わりました。来年（二〇二〇年）は東京オリンピックの年、前回昭和三十九年（一九六四年）の大成功を機に日本経済は右肩上がりの高度成長をなしGDP（国内総生産）世界第二位となりました。働きがい、生きがいを感じる時代でした。

私は自治会の理念は「困ったときはお互いさま」の精神で、助け合う助け合いの組織であり、お互い協力しあう事が大事である組織だと思っています。

いま自治会加入率は、六五・六％です。今期の重点目標としていきます。各地区会長様はじめ町内会長様のご支援、ご鞭撻を賜りますとともに、それぞれの組織のご発展をご祈念申しあげ挨拶とさせていただきます。

美保地区

地域ぐるみの防災体制確立

美保まちづくり協議会

会長 山根誠吾

美保まちづくり協議会は、平成二十一年に設立され、今年で十周年を迎える節目の年に当たりますので、記念事業として十月に防災講演会等の実施を計画しているところで。

美保地区は、旧来の集落も沢山在りますが、ここ四十〜五十年の間に、鳥取駅の南側に隣接する田園地帯に宅地開発が進んで拡大した比較的新しい地域です。

美保地区の全世帯数五二一九世帯中、二九七一世帯が二六町内会に加入して美保地区自治会を形成しており、まちづくり協議会も同様で、規模的には鳥取市最大の地区となっておりますけれども、町内会への加入率は僅か五十七％で、地域一体となつてのまちづくりと言うにはほど遠い状態です。

実態としては、一戸建てばかりではなくて大型マンションや借家も多く、人の移動も多いため、地域の融合が難しい地域と言えると思えます。

しかも地形的には地域内を千代川、新袋川、大路川、清水川、山白川等の河川が流れ、台風や大雨の時期には常



美保地区文化祭

に水害の危険を感じなければならぬばかりか、鳥取市地域防災計画上で、水害時に地区民を収容出来る安全な避難所が地区内には無い事になつている状況の中で、政治も行政も自治活動も全ては人命を守る事から始まる訳です。我がまちづくり協議会として第一に注力すべきは、緊急時に地域が一体となつて住民の身体・生命を守る安全なまちづくりであり、防災体制確立がまちづくり事業の原点であり最終目標と考えています。

本協議会の主な活動としては、二年に一回、他都市のまちづくり協議会や自治会と交流会を実施して、防災関係を中心に研修を進めて居り、平成二十二年は韓国清州市龍岩一洞住民自治委員会、二十六年が徳島市宍戸コミュニティ協議会、二十八年が松江市城西公民館運営協議会、三十年には福知山市惇明地区自治会及び自主防災会と交流して来ました。

また、毎年十月には二日間に亘つて美保地区文化祭を実施し、住民の皆さんの作品展を開催する他、模擬店の出店、餅つきの実施、老人会の指導で子ども達に昔の遊びを教える等、住民間の触れ合いに務めて地区の一体化を進めて居ますが、災害はいつ起きるか分かりませんから、地域全体でもっと危機感を持って防災のまちづくりを推進する必要がありますと感じています。



福知山市との交流会



台風を心配しながらの夏まつり

大正地区
人づくりが地域の誇り
 大正地区区長会
 会長 **西垣勝則**

大正地区は、千代川左岸に位置し、元は気高郡の大正村です。緑豊かな農村地帯でしたが、新たな団地やニュータウン等ができ、現在では十七の自治会等が活動しています。

また、工業団地の開発や大型商業施設の出店、自動車道の整備が進み、工業地域や商業地域、住宅地としての性格も有する地区となっています。

地区内に小学校区が二つあったり、新たな居住者が増えたりと、纏まりを維持していく上での課題・問題はありますが、各自治会等では、神社の祭りや納涼祭など伝統行事やコミュニティ

づくりのイベントに取組まれています。

また、地区として

も、住民の皆さんの絆を深め、連携を図るため、大運動会や夏まつり、公民館まつり、スポーツ大会、地域づくり交流会などを、地区内にある保育園や学校、各種施設等とも連携して開催しています。また、安全安心な魅力ある大正づくりを目指し、「あいさつ運動」や「見守り活動」にも力を

入れています。

これらの取組みが、いつも多くの参加者を集め、盛大に実施できているのは、各自治組織の方々が積極的に参加、協力していただいている賜物です。

所属している自治組織だけでなく、地区の取組みにも主体的に関わっていただける体制は、一朝一夕にできるものではありません。

これまでの諸先輩のご努力の成果ですが、それを引継ぎ、次の世代へと渡していこうとされている方々が多くいらっしゃるということも、地区の誇りです。



大正地区大運動会

令和元年度

定期総会

鳥取市自治連合会は、さる五月十日、とりぎん文化会館小ホールにおいて、各地区より選出された百二十六名の代議員の出席のもと、定期総会及び講演会を開催いたしました。



定期総会

を代表して米里地区の渡邊勘治郎氏から謝辞が述べられました。

講演会では、「特殊詐欺について」のテーマで、鳥取警察署 生活安全課 警部補 西澤和貴氏をお迎え

し、オレオレ詐欺や架空請求詐欺など八通りの特殊詐欺の手法やその対策について、わかりやすく講演をいただきました。

も暮らしたい、誰もが暮らしたくなる、自信と誇り・夢と希望に満ちた鳥取市」の説明を受けました。次に、議長団に水田城北地区会長と西村修立地区会長を選出し、議案の審議に入り、以下の議案が承認されました。

- ・平成三十年事業報告並びに収支決算報告、監査報告
- ・令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)
- ・役員承認



講演会

念品が贈呈されました。続いて、深澤市長及び山田市議会議長からご祝辞をいただいた後、被表彰者

新 役 員						
会長	副会長	副会長	副会長	副会長	副会長	監事
南部 敏	下澤 理如	土橋 周美	田中 雅勝	新 潤一	福田 正美	中村 克彦
						森本 孝行
						西原 牧夫

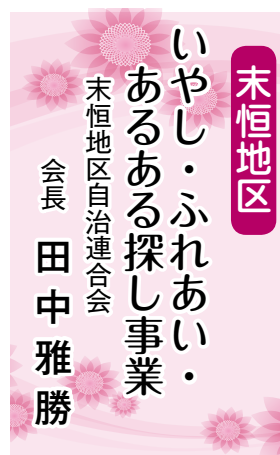
「郷土を愛し、人と自然（環境）にやさしい安心・安全な地域づくり」を目指して、まちづくり連絡協議会と連携して、いやし・ふれあい・あるある探し事業を展開している。



リファレンスいなば

少子高齢化や人口減少問題を考える時、旧態依然とした、無い物（箱もの）ねだりや依存から脱皮し、もはや右肩上がりの発展はないと発想を変え地域の特徴を生かした身の丈に合った自律した地域づくりを進めようとしています。

あるある探し事業は末恒地区の誇る「あるもの」すなわち（人・名所旧跡・伝統芸能・今や当たり前の事と



発見し、私達の住む郷土末恒を深く知る事で誇りと愛着と自信を持って内外に発信・活用し、更には後世に継承して行こうとする継続的な取り組みです。調査を進める程、住んで便利で誇れる神話の郷すえつねだとの確信とこの良さを知らない人が多く、十分に活用できていないとの想いが強くなり、マップを作成してふるさと探訪を実施する中で「郷土誌すえつね」の発刊へと繋がり、平成三十年十月発刊記念式典・講演会の運びとなりました。

各町内会・学校・公民館・関係先、講演会出席者へ贈呈し郷土を知る礎となりました。

令和元年度はこれを更に活用すべく郷土誌映像化委員会を立ち上げ、関係機関の協力も得ながら作業を進めています。



郷土誌すえつね講演会

令和元年度 先進地研修視察報告

去る6月6日、奈良市役所に於いて、鳥取市自治連合会の地区会長、事務局、市協働推進課職員を含む27名は、奈良市自治連合会の皆様14名と交流研修会を行いました。要点を以下のとおり報告します。

1. 両市自治連合会の概要比較（事前調査等より）平成31年4月1日現在

項目	奈良市	鳥取市
人口	356,352人	188,739人
世帯数 (a)	161,392世帯(H30.4.1)	79,476世帯
自治連合会組織名称	奈良市自治連合会	鳥取市自治連合会
加盟の地区数	50地区（概ね小学校区）	41地区（概ね小学校区）
自治会数	1,128自治会	831町区
自治会加入世帯数(b)	103,995世帯(H30.4.1)	52,084世帯
加入率(b/a)	64.4% (H30.4.1)	65.5%
活動の拠点と協力体制	地域ふれあい会館（17） 公民館（24）分館（25）	地区公民館が主拠点
地域課題解決に向けた地域各種団体の連携体制	「地域自治協議会」の立ち上げ中（2年経過、15地区） 課題解決を目指す 自立的な「コミュニティ」	まちづくり協議会 （10年経過61地区）市民と行政が協働で地域コミュニティの充実

2. 奈良市の先進的取り組み

- ①自治会への加入率の低下と自治会長の担い手不足から、以下が発行されています。
 - ・自治会活動の手引き「基盤組織として活性化」
 - ・地域自治組織づくりマニュアル「自分たちのまちは自分たちの手で」
- ②奈良は1300年の歴史から、災害が少ない地域であるとした風潮もありますが、災害に備える取り組みが積極的に行われています。
 - ・小学校区ごとの防災と防犯組織形成
 - ・「災害もしもカード」の配布
(注)被災時の安否確認と身分証明書として利用するカード
 - ・地区ごとでの避難マニュアル発行

3. 研修で感じたこと

- ①奈良公園の「神様の使い」と言われる約1,300頭の野生の鹿は、夜間・悪天候の時も保護されることは無く、自らの安全確保のために群れを成して移動しているとの事。
人間も自然災害の前には無力な一動物、自治組織（群れ）作りでの「共助」が大切。
- ②文化都市に相応しい、市庁舎内での2時間に及ぶ研修は、お互いの地域の歴史や環境の違い、或いは共通の課題と対応を紹介し合い、少しでも前進をとの思いに、大変有効なものとなりました。
(文責/西村 孝一)

神戸地区

「かんど地域づくり協議会」の活動

かんど地域づくり協議会
会長 前田建夫

神戸地区は、鳥取市の中心に位置する谷あいの山間地区です。約10kmに渡る砂見川に添い、または山中に点在する七集落二百三十戸からなります。

人口は、平成十年三月の千八百八十人から三十一年三月の七百十人にまで減少し、六十五才以上の高齢化率は四十四%まで上昇しました。

小学校は児童の減少により今年度を最後に閉校し、令和二年度には新たな小中一貫校「江山学園」として出発します。

このような状況の中「かんど地域づくり協議会」では「地区コミュニティ計画」

- ①活力のある地域づくり
- ②安心安全な地域づくり
- ③支えあう福祉の地域づくり
- ④生活環境の整備
- ⑤明日を担う人づくり
- ⑥美しいふるさとづくりを目標に様々な活



かんど夏祭り

動を行って
います。

かんど夏祭りは、「桃祭り」として有名で、地区特産の桃の販売を中心に地区外から多くの来客で賑やかな祭りです。今年七月二十八日(日)に開催の予定です。



かんど冬の祭典

冬の祭典は、中学生と一緒に公民館にイルミネーションの設置と室内の飾りつけをして、夜は各種団体のバザーと音楽や子供たちのダンスで楽しみます。大人にはアルコールも用意するので送迎のバスもチャーターします。

大都市の一部を除き全国的な現象とは思いますが、当地区も人口減少と高齢化は止められません。また閉校後の小学校跡地の利用という大きな問題もあります。

地区の活性化のためには「かんど地域づくり協議会」の活動がこれまで以上に重要となりますが、小学校の閉校をピンチではなくチャンスと捉え、新しい神戸地区を創ることが大切です。その為には数少ない若者を含め地区民みんなで協力することが望まれます。

鳥取県自治会連合会の動き

平成三十年
中四国自治会連絡協議会

二月二十二日、鳥取県倉吉市において開催され、各県連の代表者(総勢百二十九名)が集い、鳥取県自治会連合会からは三十九名が参加した。

広島・高知・鳥取の三県を代表する自治会(町内会)連合会がそれぞれ特色ある活動について発表し、その後意見交換を行った。

響かせようトットリズム♪

三月二日、米子市淀江文化センターにて開催され、講演会では「心のかよう地域コミュニティづくり」について、分科会では「住んで楽しいまちづくり」、「地域づくりの輪の広げ方」、「あなたの一歩で地域を元気に」のテーマで熱心に討議が行われた。又、地域を元気にする活動で、優れた七件が最優秀候補として決定された。

令和元年度

第一回正副会長会

(四月二十二日、倉吉市役所)

平成三十年度監査会

(四月十二日、倉吉市)

令和元年度総会及び研修会

(五月二十一日、鳥取市福祉文化会館)

◎総会

・平成三十年度事業報告及び収支決算報告、監査報告

・令和元年度事業計画(案)及び収支予算(案)

- 役員選出
- 会長 南部 敏 (鳥取市)
- 副会長 高野 和男 (米子市)
- 副会長 笠見 猛 (倉吉市)
- 理事 下澤 理如 (鳥取市)
- 理事 土橋 周美 (鳥取市)
- 理事 田中 雅勝 (鳥取市)
- 理事 新 潤一 (鳥取市)
- 理事 福田 正美 (鳥取市)
- 理事 大櫃 興紀 (米子市)
- 理事 上田 康則 (米子市)
- 理事 田邊 忠雄 (米子市)
- 理事 奥田 登 (倉吉市)
- 理事 福田 健 (倉吉市)
- 理事 齋木 英宏 (倉吉市)
- 理事 笠原 宣幸 (倉吉市)
- 理事 中村 克彦 (鳥取市)
- 監事 森本 孝行 (鳥取市)

以上、原案通り承認されました。

◎研修会
テーマ：「災害が起きた時、こんなことができる！」

講師：公益社団法人ガールスカウト日本連盟
鳥取県第一団 リーダー
倉本 弘美 氏

後記

平成最後は自然災害の猛威の前に安全神話が社会面では不祥事・震災などの人災が多発し信頼が大きく揺らぎました。五月より令和元年がスタートし祝賀ムード一杯ですが関心と問題意識を持ち自律しなれば現状は何も変わりません。共通課題を抱えながら各地区とも特色ある取り組みを展開されていますが今号は四地区、先進地研修視察での奈良市自治会連合会の取り組み概要を紹介します。

(広報委員長 田中雅勝)